

海軍公報

第千七百三十三號

昭和七年十一月十五日(火)

海軍大臣官房

○通牒

昭和七年十一月十五日

海軍經理學校

在京各應高等官御中

拜啓來二十二日(火)本校卒業式施行可致候ニ付テハ
當日 宣仁親王殿下ヲ被差遣候旨御沙汰有之候間午前
九時三十分迄ニ御來臨被下度此段御案内申上候
服裝 通常禮裝又ハ「フロックコート」「モーニング」

○訓令

海軍省出仕海軍大佐 岩村 清一

海軍大臣官房ニ於テ服務スヘシ

(各通)

同 海軍中佐 中原 義正
同 海軍少佐 庄司 芳吉

海軍省人事局ニ於テ服務スヘシ

○辭令

海軍省出仕海軍機關大佐 柳原 博光
海軍省軍需局ニ於テ服務スヘシ

同 海軍機關少佐 秋重 實恵

海軍省教育局ニ於テ服務スヘシ

(各通) 同 海軍軍醫大佐 中野 太郎
同 海軍藥劑大佐 坂本 佐太郎

海軍省醫務局ニ於テ服務スヘシ(以上 註明海軍大臣)

(各通) 東京地方裁判所所屬辯護士 橋本 潔
同 後藤 徳太郎
同 本多 數馬

海軍軍法會議法第八十八條ニ依リ指定ス(註明海軍大臣)

第一課勤務ヲ命ス 海軍中佐 中原 義正

海軍少佐 庄司 芳吉

第二課勤務ヲ命ス(以上 註明海軍省人事局)

海軍公報 第千七百三十三號

昭和七年十一月十五日

一一五三

1220

○司令驅逐艦變更
第十六驅逐隊司令ハ一昨十三日司令驅逐艦ヲ一時芙蓉
ヨリ朝顔ニ變更セリ

○國際聯盟新嘉坡保健部東局傳染病週報(自十月三十一日至十一月五日)

1221

○艦船所在

▲印ハ「ハカ」ヲ
指定ヲ要セズ

○十一月十五日午前十時調

【横須賀】

日進▲、山城▲、五十鈴▲、駒橋、長門、赤城、高雄▲、島海、摩耶、愛宕、榛名、木曾、春日、口金剛、▽鳳翔

樺、椿▲、▽羽風▲、秋風▲、太刀風、帆風、

▽沖風、峯風、矢風、澤風、▽潮、曙、朧、

▽朝霧、夕霧、天霧

▽伊四、▽伊二四、伊二三

富士▲、尻矢、洲崎、膠州、大和、鳴戸

(龍驤)

【長浦】

嚴島

桑、横、▽神風、波風、野風、沼風、

▽狹霧、漣、雷

呂二〇、呂二一、呂二二、▽呂五五、

呂五四、呂五六、▽呂五九、呂五七、

呂五八、伊三

▽掃五、掃一、掃二、掃三、掃四、掃六

【石川島】

春風▲

【横濱】

松風▲

【浦賀】

神威▲

大湊▽島風、灘風、汐風、夕風

大泊

【吳】

扶桑▲、比叡、加古、矢矧、古鷹、淺間、淀、球磨、日向、韓崎、白鷹、勝利、

鬼怒、▽伊勢、▽那珂、阿武隈、戸妙高、

那智、▽神通、▽長鯨、▽八雲、磐手、

江風、谷風、天津風、時津風、磯風、濱風、

▽白雪、初雪、深雪、▽叢雲、薄雲、白雲、

▽早苗、早巖、若竹、吳竹、▽敷波、綾波、

浦波、▽東雲、吹雪、磯波

呂一四、呂一五、呂一六、呂一七、呂一八、

呂一九、▽呂二七、呂二六、呂二八、

▽呂五三、呂五一、▽呂六五、呂六六、

呂六七、伊六七、伊五、▽伊五三、

伊五一、▽伊五七、伊五六、伊五八、

伊五五、伊五三、伊五四

掃七、掃八、掃九、掃一〇

劍崎、石廊、攝津、朝日、室戸、間宮

(伊六五)

旗風▲、朝風▲、電

【大阪】

【神戸】

【舞鶴】

【佐世保】

名取▲、陸奥、長良、川内、青葉、衣笠、

常磐、龍田、八重山、霧島、由良、夕張、 迅鯨、加賀、足柄、羽黒、 夕風、朝風、追風、疾風、栗、楡、梅、 柿、葦、菱、華、皋月、水無月、長月、 文月、三日月、菊月、望月、夕月、 彌生、睦月、如月、卯月、 呂二三、呂二四、呂二五、呂六三、 呂六四、呂六八、呂三〇、呂二九、 呂三二、呂六〇、呂六一、呂六二、 伊六二、伊六一、伊六四、伊六三、 伊五九、伊六〇、伊六六、 敷島、佐多、早鞆、能登呂、隱戸	【長崎】知床 【馬公】北上 【樺】梨、竹 【野島】 【鎮海】蓮、蓼、蓬 【旅順】芙蓉 【龍口】刈萱 【芝罘】朝顔 【青島】平戸 襟裳 【上海】出雲、安宅 薄、葛、萩、藤
【鎮江】鳥羽 【南京】天龍 樗、柳 【蕪湖】浦風 【九江】桃、檜 【大冶】對馬、保津 【漢口】比良、伏見、堅田、宇治 【長沙】隅田 【宜昌】二見、熱海 【廣東】嵯峨 【航海中】 勢多 (十三日漢口發—鎮江—) 青島 (十三日橫須賀發—大阪—) 鶴見 (十四日徳山發—舞鶴—)	

(部内限一頁)

海軍公報

第千七百三十四號

昭和七年十一月十六日(水)

海軍大臣官房

○辭令

第一課勤務ヲ命ス

海軍中佐 河野 千萬城

海軍少佐 大和田 昇

第一課兼第二課勤務ヲ命ス

同 後藤 光太郎

第二課勤務ヲ命ス(以上註明海軍省軍務局)

海軍機關少佐 江本 一雄

總務部第一課勤務ヲ命ス(註明海軍艦政本部)

海軍公報 第千七百三十四號 昭和七年十一月十六日

一一五七

1224

○艦船所在

▲印ハ「ハ」水「フ」指定ヲ要セズ

○十一月十六日午前十時調

【横須賀】

日進▲、山城▲、五十鈴▲、駒橋、長門、赤城、高雄▲、鳥海、摩耶、愛宕、榛名、木曾、春日、口金剛、▽鳳翔

樺、椿▲、▽羽風▲、秋風▲、太刀風、帆風、

▽沖風、峯風、矢風、澤風、▽潮、曙、朧、

▽朝霧、夕霧、天霧

▽伊四、▽伊二四、伊二三

富士▲、尻矢、洲崎、膠州、大和、鳴戸

(龍驤)

【長浦】

嚴島

桑、横、▽神風、波風、野風、沼風、

▽狭霧、漣、雷

呂二〇、呂二一、呂二二、▽呂五五、

呂五四、呂五六、▽呂五九、呂五七、

呂五八、伊三

▽掃五、掃一、掃二、掃三、掃四、掃六

【石川島】

春風▲

【横濱】

松風▲

【浦賀】

神威▲

【大湊】

島風、灘風、汐風、夕風

大泊

【吳】

扶桑▲、比叡、加古、矢矧、古鷹、淺間、淀、球磨、日向、韓崎、自鷹、勝利、鬼怒、▽伊勢、▽那珂、阿武隈、戸妙高、那智、▽神通、▽長鯨、▽八雲、磐手

江風、谷風、天津風、時津風、磯風、濱風、

▽白雪、初雪、深雪、▽叢雲、薄雲、白雲、

▽早苗、早蕨、若竹、吳竹、▽敷波、綾波、

浦波、▽東雲、吹雪、磯波

呂一四、呂一五、呂一六、呂一七、呂一八、

呂一九、▽呂二七、呂二六、呂二八、

▽呂五三、呂五一、▽呂六五、呂六六、

呂六七、伊六七、伊五、▽伊五二、

伊五一、▽伊五七、伊五六、伊五八、

▽伊五五、伊五三、伊五四

掃七、掃八、掃九、掃一〇

劍埼、石廊、攝津、朝日、室戸、間宮

(伊六五)

旗風▲、朝風▲、電

【大阪】

大井

▽伊二、伊一、▽伊二二、伊二一

【舞鶴】

吾妻、多摩▲

▽夕顔、葵、菊

呂三一

【佐世保】

名取▲、陸奥、長良、川内、青葉、衣笠、

常磐、龍田、八重山、霧島、由良、夕張、
 迅鯨、加賀、足柄、羽黒、
 夕風、朝風、追風、疾風、栗、楡、梅、
 柿、葉、菱、重、阜、水無月、長月、
 文月、三日月、菊月、望月、夕月、
 彌生、睦月、如月、卯月、
 呂三、呂二四、呂二五、呂六三、
 呂六四、呂六八、呂三〇、呂二九、
 呂三二、呂六〇、呂六一、呂六二、
 伊六二、伊六一、伊六四、伊六三、
 伊五九、伊六〇、伊六六、
 敷島、佐多、早瀬、能登呂
 (曉)
 馬公、北、知床、
 鎮海、樫、梨、竹、
 旅順、芙蓉、
 龍口、刈萱、
 芝罘、朝顔、
 青島、平戸、
 上海、出雲、安宅、
 鎮江、薄、葛、萩、藤、
 鎮江、鳥羽、
 南京、天龍、

【燕湖】 浦風、柳、
 【九江】 桃、楡、
 【大治】 對馬、保津、
 【漢口】 比良、伏見、堅田、宇治、
 【長沙】 隅田、
 【宜昌】 二見、熱海、
 【廣東】 嵯峨、
 【航海中】
 勢多 (十三日漢口發—鎮江へ)
 青島 (十三日横須賀發—大阪へ)
 鶴見 (十四日徳山發—舞鶴へ)
 襟裳 (十五日青島發—佐世保へ)
 野島 (十五日馬公發—佐世保へ)
 隱戸 (十五日佐世保發—吳へ)

(部内限二頁、同附録五頁)

海軍公報

第七千七百三十五號

昭和七年十一月十七日(木)

海軍大臣官房

○ 辭 令

特別俸ヲ賜フ

海軍大佐 住山、徳太郎

同 片桐 英吉

軍艦榛名在役艦タル間同艦長在職中特別俸ヲ賜フ

同 岡田 倭一

軍艦加賀在役艦タル間同艦長在職中特別俸ヲ賜フ

(十一月十五日 海軍省)

○ 雜 款

○ 驅逐艦曉行動豫定

地名 着

佐世保

着

神 社

十二月四日

横 須 賀

六 日

十二月二日

五日

○ 郵便物發送先
驅逐艦曉宛

十二月一日迄ニ到達見込ノモノハ 佐世保
其ノ後ハ 横須賀

○ 着任

海軍大學校長 海軍少將 加藤隆義 昨十六日着任

○ 事務所撤去

驅逐艦曉艦裝具事務所ヲ佐世保海軍工廠内ニ設置中ノ
處本月十八日撤去ス

○ 上海事變記念寫真帖實費要望ノ分ハ本月十四日全部
發送済

(第三艦隊司令部)

○ 學生入校期日

來十二月一日附任命セラルベキ本校各種學生ニ對シ同
八日午前九時三十分始業式施行ニ付其ノ前日迄ニ着校
セシメラレ度

(海軍水雷學校)

○ 試驗問題發送

海軍公報 第七千七百三十五號 昭和七年十一月十七日

一一六一

1227

海軍公報 第七百三十五號 昭和七年十一月十七日

第二十三期偵察練習生採用試験問題（十二月五日試験
施行豫定）本月十五日發送済、未着ニシテ必要ノ向ハ
至急御通知相成度

（横須賀海軍航空隊）

一一六二

1228

○艦船所在

▲印ハハホフ
指定ヲ要セズ

○十一月十七日午前十時調

【横須賀】

日進▲、山城▲、五十鈴▲、駒橋、長門、赤城、高雄▲、鳥海、摩耶、愛宕、榛名、木曾、春日、口金剛、▽鳳翔

樺、椿▲、▽羽風▲、秋風▲、太刀風、帆風、

▽沖風、峯風、矢風、澤風、▽潮、曙、隴、

▽朝霧、夕霧、天霧

▽伊四、伊三

富士▲、尻矢、洲崎、膠州、大和、鳴戸

(龍驤)

【長浦】

嚴島

桑、楨、▽神風、波風、野風、沼風、

▽狹霧、漣、雷

呂二〇、呂二一、呂二二、▽呂五五、

呂五四、呂五六、▽呂五九、呂五七、

呂五八、▽伊二四、伊二三

▽掃五、掃一、掃二、掃三、掃四、掃六

【石川島】

春風▲

【横濱】

松風▲

【浦賀】

神威▲

【大湊】

▽島風、灘風、汐風、夕風

大泊

【吳】

扶桑▲、加古、矢矧、古鷹、淺間、淀、球磨、日向、韓崎、白鷹、勝利、鬼怒、

▽伊勢、▽那珂、阿武隈、▽妙高、那智、

▽神通、▽長鯨

江風、谷風、天津風、時津風、磯風、濱風、

▽白雪、初雪、深雪、▽叢雲、薄雲、白雲、

▽早苗、早蕨、若竹、吳竹、▽敷波、綾波、

浦波、▽東雲、吹雪、磯波

呂一四、呂一五、呂一六、呂一七、呂一八、

呂一九、▽呂二七、呂二六、呂二八、

▽呂五三、呂五一、▽呂六五、呂六六、

呂六七、伊六七、伊五、▽伊五二、

伊五一、▽伊五七、伊五六、伊五八、

▽伊五五、伊五三、伊五四

掃七、掃八、掃九、掃一〇

劍崎、石廊、攝津、朝日、室戸、隠戸、

間宮

【大阪】

(伊六五)
旗風▲、朝風▲、電

青島

【神戸】

大井

▽伊二、伊一、▽伊二三、伊二一

【江田内】

▽八雲、磐手

【舞鶴】

吾妻、多摩▲

▽夕顔、葵、菊

呂三一 鶴見	(響)	【佐世保】	名取、陸奥、長良、川内、青葉、衣笠、常磐、龍田、八重山、霧島、由良、夕張、
迅鯨、加賀、足柄、羽黒	夕風、朝風、追風、疾風、栗、楡、梅、柿、草、菱、葦、草月、水無月、長月、	文月、三月月、菊月、望月、夕月、	彌生、睦月、如月、卯月
呂二三、呂二四、呂二五、呂六三、	呂六四、呂六八、呂三〇、呂二九、	呂三二、呂六〇、呂六一、呂六二、	伊六二、伊六一、伊六四、伊六三、
伊五九、伊六〇、伊六六	敷島、佐多、早瀬、能登呂	(曉)	【長崎】
【馬公】	知床	北上	樞、梨、竹
鎮海、蓮、蓼、蓬	【旅順】	芙蓉	【龍口】
劉萱	【芝罘】	朝顔	【青島】
平戸	平戸	平戸	平戸

【上海】田雲、安宅

【鎮江】鳥羽

【南京】天龍

【燕湖】柳

【九江】浦風

【大冶】桃、楡

【漢口】對馬、保津

【長沙】比良、伏見、堅田、宇治

【宜昌】二見

【廣東】二見

【航海中】

【勢多】

【襟裳】

【野島】

【熱海】

【比叡】

(附錄一葉、部内限二頁)

昭和七年十二月十七日(木)
海軍大臣官房

1231

海軍公報

第千七百三十六號

昭和七年十一月十八日(金)
海軍大臣官房

○通牒

官房第四三二五號ノ二

昭和七年十一月十八日

海軍省副官

關係各廳長殿

觀櫻會觀菊會ニ召サレタル在營中ノ

下士官兵ノ服裝ニ關スル件通牒

首題ノ件ニ關シ今般式部長官ヨリ海軍大臣宛左記ノ通牒有之候條御了知相成度

記

式部送第一六七二號

昭和七年十一月十一日

式部長官男爵 林 權助

海軍大臣 岡田啓介殿

自今觀櫻會觀菊會ニ召サレタル者ニシテ在營中ノ下士官兵及陸軍諸生徒ニ限リ其ノ資格ノ如何ニ拘ラズ特ニ

軍裝着用被差許候間爲御心得及御通知候

艦本第九五三〇號

昭和七年十一月十七日

海軍艦政本部長

關係各廳長殿

各部工事分擔區分ニ關スル件通牒

明治四十三年二月八日附艦本第五七四號造兵、造船、造機各部工事分擔明細書第三通信裝置ノ部ニ別表ヲ追加ス
(別表一葉添)

○辭令

海軍機關大佐 柳原 博光

第二課勤務ヲ命ス(註明海軍省軍需局)

第一課勤務ヲ命ス 海軍中佐 酒卷 宗孝

海軍機關少佐 秋重 實惠

第三課勤務ヲ命ス(以上註明海軍省教育局)

海軍公報 第千七百三十六號 昭和七年十一月十八日

一一六五

1232

(各通)
海軍中佐 草川 淳
同 田代 蘇平
海軍少佐 吉川 唯喜
第一課勤務ヲ命ス(十一月水路部)

○ 雜 款

○ 驅逐艦電行動豫定
地名 着
大阪 發
横須賀 十一月十八日
十一月十七日

○ 郵便物發送先
驅逐艦電宛
自 今
横須賀

○ 海軍艦政本部監督官異動

出張 地方	職	官 氏 名
----------	---	-------

東京 (首席) 海軍艦政本部造兵監督官	海軍大佐 赤堀 英吉
---------------------------	------------

長崎 (首席) 造船監督官兼造兵監督官	海軍機關大佐 沖本 至
---------------------------	-------------

大阪 (首席) 造船監督官兼造兵監督官	同 二階堂行健
---------------------------	---------

八幡 (首席) 造船監督官	海軍造船大佐 正木 宣恒
---------------------	--------------

玉 官 横須賀海軍工廠造船部 兼造船監督官造兵監督官	海軍造船中佐 渡邊 武夫
-------------------------------------	--------------

神戸 造兵監督官	海軍造兵少佐 中野 薄
-------------	-------------

○ 事務所撤去

驅逐艦電機裝具事務所ヲ株式會社藤永田造船所(大阪市住吉區柴谷町四)ニ設置中ノ處本月十五日撤去セリ

○ 學生着任期日

來十二月一日附任命セラルベキ本校專攻科學生及高等科學生ハ同八月始業式ニ付其ノ前日迄ニ着校セシメラレ度
(海軍砲術學校)

海軍軍醫大尉正七位江頭良市本月六日福岡縣粕屋郡志賀島村星野保養院ニ於テ死去

海軍大尉正七位三好昌夫本月十一日別府市ニ於テ死去

○艦船所在

指印ハハホフ
定タ要セズ

○十一月十八日午前十時調

【横須賀】

日進、山城、五十鈴、駒橋、長門、赤城、高雄、島海、摩耶、愛宕、榛名、木曾、春日、口金剛、鳳翔

樺、椿、羽風、秋風、太刀風、帆風、

沖風、峯風、矢風、澤風、潮、曙、朧、

朝霧、夕霧、天霧

伊四、伊三

富士、尻矢、洲崎、膠州、大和、鳴戸

(龍驤)

【長浦】

嚴島、桑、楨、神風、波風、野風、沼風、

狹霧、漣、雷

呂二〇、呂二一、呂二三、呂五五、

呂五四、呂五六、呂五九、呂五七、

呂五八、伊二四、伊二三

【石川島】

春風

【横濱】

松風

【浦賀】

神威

【大湊】

島風、灘風、汐風、夕風

大泊

【吳】

扶桑、加古、矢矧、古鷹、淺間、淀、球磨、日向、韓崎、白鷹、勝利、鬼怒、

伊勢、那珂、阿武隈、妙高、那智、神通、長鯨

江風、谷風、天津風、時津風、磯風、濱風、

白雪、初雪、深雪、叢雲、薄雲、

白雲、早苗、早歲、若竹、吳竹、敷波、

綾波、浦波、東雲、吹雪、磯波

呂一四、呂一五、呂一六、呂一七、呂一八、

呂一九、呂二七、呂二六、呂二八、

呂五三、呂五一、呂六五、呂六六、

呂六七、伊六七、伊五、伊五二、

伊五一、伊五七、伊五六、伊五八、

伊五五、伊五三、伊五四

掃七、掃八、掃九、掃一〇

劍崎、石廊、攝津、朝日、隱戸、間宮

【大阪】

旗風、朝風

【神戸】

青島、大井

【江川内】

八雲、磐手

【舞鶴】

吾妻、多摩、夕顔、葵、菊

呂三一

1234

鶴見

(響)

【佐世保】

名取、陸奥、長良、川内、青葉、衣笠、常磐、龍田、八重山、霧島、由良、夕張、

夕風、朝風、追風、疾風、栗、楡、梅、

柿、葦、菱、葦、皋月、水無月、長月、

文月、三月、菊月、望月、夕月、

彌生、睦月、如月、卯月、

呂三三、呂二四、呂二五、呂六三、

呂六四、呂六八、呂三〇、呂二九、

呂三二、呂六〇、呂六一、呂六二、

伊六二、伊六一、伊六四、伊六三、

伊五九、伊六〇、伊六六、

敷島、佐多、早鞆、能登呂、襟裳

(曉)

【長崎】知床

【馬公】北上

【鎮海】樞、梨、竹

【龍口】蓮、蓼、蓬

【芝罘】劉、荳

【上】朝顔、芙蓉

【海】出雲、安宅

【鎮江】薄、葛、萩、藤

【鎮江】勢多

【南京】

天龍

【蕪湖】

浦風

【九江】

桃、楡

【大冶】

保津

【漢口】

比良、伏見、堅田、宇治、熱海

【長沙】

二見

【宜昌】

嵯峨

【廣東】

嵯峨

【航海中】

野島

【比叻】

比叻

【對馬】

對馬

【平戶】

平戶

【電】

電

【室戸】

室戸

【鳥羽】

鳥羽

(別表一葉、部内限二頁)

1235

(昭和七年十一月十八日公報別表)

番 號	品 名	新 造 艦 船				既 成 艦 船				備 考
		主務部	關係部	工 事 部 施行部	費用部 電 氣 部	主務部	關係部	工 事 部 施行部	費用部 電 氣 部	
10	注 排 水 指 揮 装 置	注排水指揮盤	船	兵(電)	船	船	兵(電)	船	船	
		注排水管制盤	船	兵(電)	船	船	兵(電)	船	船	
		浸水標示器	兵(電)	船	兵(電)	兵(電)	船	兵(電)	兵(電)	
		吃水標示器	船	兵(電)	船	船	兵(電)	船	船	
		傾斜標示器	船	兵(電)	船	船	兵(電)	船	船	
		G. M. 標示器	船	船	船	船	船	船	船	
		傾 斜 計	船	船	船	船	船	船	船	
		注排水通報器	兵(電)	船	兵(電)	兵(電)	船	兵(電)	兵(電)	
		舵角受信器	兵(電)	船	兵(電)	兵(電)	船	兵(電)	兵(電)	
		速度受信器	兵(航)	船	兵(航)	兵(航)	船	兵(航)	兵(航)	
		電 話 器	兵(電)	船	兵(電)	兵(電)	船	兵(電)	兵(電)	
		傳 聲 管	船	船	船	船	船	船	船	
		空氣傳送器	船	兵(電)	船	船	兵(電)	船	船	
		高聲令達器	兵(電)	兵(電)	兵(電)	兵(電)	兵(電)	兵(電)	兵(電)	
		傳聲管用 電 鐘 装 置	兵(電)	船	兵(電)	兵(電)	船	兵(電)	兵(電)	

1236

海軍公報

第千七百三十七號

昭和七年十一月十九日(土)
海軍大臣官房

○令達

官房第四三三一號

此ノ際特定修理等ノ爲引續キ三箇月以上定緊港ヲ離ル
ル艦船ニ於テ支給スル航海加俸ノ支給定日ニ關シテハ
昭和四年官房第二九三四號ノ規定ヲ準用スルコトヲ得
昭和七年十一月十九日
海軍大臣

○通牒

昭和七年十一月十八日

海軍大學校

在京各應高等官御中

本月二十六日(土曜日)

天皇陛下ノ御臨幸ヲ仰ギ第三十六回卒業式ヲ舉行可致
候間午前九時迄ニ御來校被下度此段御案内申上候
主服装 通常禮裝、フロックコート

○辭令

海軍中佐 柿本權一郎
總務部第一課勤務兼第二部勤務ヲ命ス(其前海軍艦政
本部)

海軍中佐 栗林今朝吉
水路部第三課長海軍中佐山田省三着任迄同職代理ヲ
命ス(其前水路部)

○雜款

○退任
前任 水路部第三課長 海軍大佐 吉田四郎 昨大日退任

○海軍艦政本部監督官異動

出張 地方	職	官 氏 名
神戶	遣兵監督官	海軍中佐 大塚敏雄

海軍公報 第千七百三十七號 昭和七年十一月十九日

一一六九

1237

東京

海軍火藥廠研究部員
検査官造兵監督官

海軍造兵少佐 千藤三千造

○出發

歐米各
國出張

海軍機關少佐 渡邊伊三郎

十二月五日 東京發
同日 横濱發 大洋丸

○學生着校期日

今般任命相成ルベキ本校特修科學生、專攻科學生、普通科學生ハ來十二月八日始業式舉行可致ニ付其ノ前日迄ニ着校セシメラレ度

(海軍工機學校)

○正誤

八月三日辭令欄中「長 勇兄長 孝一郎」ハ「長 勇 祖母長 トラ」ノ誤

○艦船所在

指定ヲ要セズ

○十一月十九日午前十時調

【横須賀】

日進、山城、五十鈴、駒橋、長門、比叡、赤城、高雄、鳥海、摩耶、愛宕、榛名、木曾、春日、口金剛、鳳翔

櫻、椿、羽風、秋風、太刀風、帆風、沖風、峯風、矢風、澤風、潮、曙、朧

伊四、伊三

富士、尻矢、洲崎、膠州、大和、鳴戸

【長浦】

嚴島、桑、楨、神風、波風、野風、沼風、狹霧、漣、雷、電

呂二〇、呂二一、呂二二、呂五五、呂五四、呂五六、呂五九、呂五七、呂五八、伊二四、伊二三

掃五、掃一、掃二、掃三、掃四、掃六

【石川島】

春風

【横濱】

松風

【浦賀】

神威

【大湊】

島風、灘風、汐風、夕風

大泊

【吳】

扶桑、加古、矢矧、古鷹、淺間、淀、球磨、日向、韓崎、自鷹、勝力、伊勢、那珂、阿武隈、妙高、那智、神通、長鯨

江風、谷風、天津風、時津風、磯風、濱風、白雪、初雪、深雪、叢雲、薄雲、自雲、早苗、早蕨、若竹、吳竹、敷波、綾波、浦波、東雲、吹雪、磯波

呂一四、呂一五、呂一六、呂一七、呂一八、呂一九、呂二七、呂二六、呂二八、呂五三、呂五一、呂六五、呂六六、呂六七、伊六七、伊五、伊五二、伊五一、伊五七、伊五六、伊五八、伊五五、伊五三、伊五四

掃七、掃八、掃九、掃一〇、劍崎、石廊、攝津、朝日、隱片、間宮

伊六五

旗風、朝風

青島

【大阪】

【神戸】

【江川内】

【舞鶴】

大井、伊二、伊一、伊二三、伊二一、八雲、磐手、吾妻、多摩、夕顔、葵、菊、呂三一

【佐世保】 名取、陸奥、長良、川内、青葉、衣笠、常磐、龍田、八重山、霧島、由良、夕張、 迅鯨、加賀、足柄、羽黑、 夕風、朝風、追風、疾風、栗、楯、 柿、葦、菱、葦、阜月、水無月、長月、 文月、三日月、菊月、望月、夕月、 彌生、睦月、如月、卯月、 呂三三、呂二四、呂二五、呂六三、 呂六四、呂六八、呂三〇、呂二九、 呂三二、呂六〇、呂六一、呂六二、 伊六二、伊六一、伊六四、伊六三、 伊五九、伊六〇、伊六六、 敷島、佐多、早瀬、能登呂	【長崎】 知床 【馬公】 北上 【鎮海】 樺、梨、竹 【龍口】 蓮、蓼、蓬 【芝罘】 平戸 【上海】 朝顔、芙蓉 【鎮江】 田雲、安宅 薄、葛、萩、藤 勢多
【南京】 天龍 樞、柳 【蕪湖】 浦風 【九江】 桃、槍 【大冶】 保津 【漢口】 對馬、比良、伏見、堅田、宇治、熱海 【長沙】 隅田 【宜昌】 二見 【廣東】 二見 嵯峨	【航海中】 野島 (十五日馬公發—佐世保へ) 室戸 (十七日吳發—橫須賀へ) 鳥羽 (十八日鎮江發—漢口へ) 鬼怒 (十八日吳發—江川内へ) 鶴見 (十八日舞鶴發—吳へ) 襟裳 (十八日佐世保發—吳へ)

(部内限二頁)

1240

海軍公報

第七千七百三十八號

昭和七年十二月二十一日(月)
海軍大臣官房

○令達

官房第四三四四號

來二十三日新嘗祭ニ付在京親任官同待遇、勅任官同待遇ハ同日午後五時三十分賢所參集所ヘ參集スベシ
服裝 正裝 大禮服

昭和七年十二月二十一日

海軍大臣

官房第四三四五號

左記ニ依リ運用術練習艦ニ於テ臨時運用術講習ヲ施行ス

左記第三號ノ講習員ヲ派遣スベシ

追テ所轄長ハ講習員ノ官氏名ヲ任務共ノ他ノ都合ニ依リ派遣シ能ハザル場合ニハ其ノ旨報告スルト共ニ運用術練習艦春日艦長ニ通報スベシ

昭和七年十二月二十一日

海軍大臣

一、講習科目 記

鑑作業指揮官トシテ職務遂行上ノ須知事項
其ノ他運用術一般

二、講習期間

昭和七年十二月十三日ヨリ八日間

三、講習員

(イ) 鑑作業指揮ヲ擔任スル左ノ各艦ノ兵科分隊長各一名(昭和六年十二月本講習終了者ヲ除ク)

軍艦衣笠、加古、青葉、阿武隈、山良、名取、神通、球磨、夕張、迅鯨

(ロ) 海軍兵學校運用術擔任教官一名

四、旅費

講習員ハ講習開始ノ前日横須賀着軍艦春日ニ乗艦、終了當日同艦退艦トシ請求ヲ俟テ別途配付ス

官房第四三四六號

左記ニ依リ運用術練習艦ニ於テ臨時轉輸雜針儀講習ヲ

海軍公報 第七千七百三十八號 昭和七年十二月二十一日

一一七三

1241

施行ス

左記第三號ノ講習員ヲ派遣スベシ

追テ所轄長ハ派遣員ノ官職階氏名ヲ十二月八日迄ニ運用術練習艦春日艦長ニ通報スベシ

昭和七年十一月二十一日

海軍大臣

記

一、講習科目

安式二號轉輪羅針儀ノ構造及取扱法

二、講習期間

昭和七年十二月十二日ヨリ六日間

三、講習員

左ノ各艦ノ操舵長及本講習ヲ受ケシムルニ適スト認ムル操舵員(下士官)各一名

軍艦金剛、榛名、日向、陸奥

四、旅費

横須賀軍港以外ノ地ヨリ派遣ノ講習員ハ講習開始ノ前日横須賀着軍艦春日ニ乗艦、終了當日同艦退艦トシ請求ヲ俟テ別途配付ス但シ講習中下士官ニ對シテハ糧食ヲ給シ日當一日ニ付金壹錢ヲ支給ス横須賀軍港ヨリ派遣ノ講習員ハ通勤スルモノトス

○ 辭令

第一課勤務ヲ命ス(海軍特務少尉 豊嶋末次郎)

○ 雜款

○司令驅逐艦指定
第六驅逐隊司令ハ本月五日司令驅逐艦ヲ雷ニ指定セリ

○學生着校期日
來十二月一日任命セラルベキ本校各種學生ハ同十日午前十時入校式施行ニ付其ノ前日迄ニ着校セシメラレ度(海軍大學校)

來二十三日午後二時吳軍港第一練兵場ニ於テ今次事變戰死者及戰病歿者故海軍特務少尉細川芳太郎以下八名ノ合同葬儀(佛式)ヲ執行ス

吳鎮守府葬喪管理者

退役海軍遣兵中將從三位勳一等功四級種子田右八郎昨二十日薨去、明二十二日午後二時ヨリ三時マデ青山齋場ニ於テ神式ニ依リ告別式執行

○艦船所在

▲印ハ「ハ」ホ「フ」
指定ヲ要セズ

○十一月二十一日午前十時調

【横須賀】

日進▲、山城▲、五十鈴▲、駒橋、長門、比叡、赤城、高雄▲、鳥海、摩耶、愛宕、榛名、木曾、春日、口金剛、口鳳翔

櫻、椿▲、口羽風▲、秋風▲、太刀風、帆風、

口沖風、峯風、矢風、澤風、口潮、曙、臘、

口朝霧、夕霧、天霧

口伊四、伊三

富士▲、尻矢、洲崎、膠州、大和、室戸、

鳴戸

(龍驤)

【長浦】

嚴島

桑、楨、口神風、波風、野風、沼風、

口狹霧、漣、口雷、電

呂二〇、呂二一、呂二二、口呂五五、

呂五四、呂五六、口呂五九、呂五七、

呂五八、口伊二四、伊二三

口掃五、掃一、掃二、掃三、掃四、掃六

【石川島】

春風▲

【横濱】

松風▲

【浦賀】

神威▲

【大湊】口島風、灘風、沙風、夕風

【吳】

大泊

扶桑▲、加古、矢矧、古鷹、淺間、淀、

球磨、鬼怒、日向、韓崎、自鷹、勝力、

口伊勢、口那珂、阿武隈、口妙高、那智、

口神通、口長鯨

江風、谷風、天津風、時津風、磯風、濱風、

口白雪▲、初雪▲、深雪▲、口叢雲、薄雲、

白雲、口早苗、早蕨、若竹、吳竹、口敷波、

綾波、浦波、口東雲、吹雪、磯波

呂一四、呂一五、呂一六、呂一七、呂一八、

呂一九、口呂二七、呂二六、呂二八、

呂五三、呂五一、口呂六五、呂六六、

呂六七、伊六七、伊五、口伊五二、

伊五一、口伊五七、伊五六、伊五八、

口伊五五、伊五三、伊五四

掃七、掃八、掃九、掃一〇

劍崎、石廊、攝津、朝日、隱戸、間宮、

青島、襟裳

(伊六五)

【大阪】旗風▲、朝風▲

【神戸】大井

口伊二、伊一、口伊二三、伊二二

【舞鶴】吾妻、多摩▲

口夕顔、葵、菊

呂三一

【佐世保】名取、陸奥、長良、川内、青葉、衣笠、常磐、龍田、八重山、霧島、由良、夕張、 迅鯨、加賀、足柄、羽黑 夕風、朝風、追風、疾風、栗、楡、梅、柿、草、菱、菫、皇月、水無月、長月、文月、三月月、菊月、望月、夕月、 彌生、睦月、如月、卯月 呂三三、呂二四、呂二五、呂六三、呂六四、呂六八、呂三〇、呂二九、呂三二、呂六〇、呂六一、呂六二、伊六二、伊六一、伊六四、伊六三、伊五九、伊六〇、伊六六 敷島、佐多、早鞆、野島、能登呂 (曉)	【長崎】知床 【馬公】北上 【鎮海】榎、梨、竹 【龍口】蓮、蓼、蓬 【芝罘】平戸 【朝顔】 【青島】芙蓉 【上海】雲、安宅 薄、葛、萩、藤
【鎮江】勢多 【南京】天龍 櫻、柳 【燕湖】浦風 【九江】桃、檜 【大冶】保津 【漢口】對馬、比良、伏見、堅田、宇治、熱海 【長沙】隅田 【宜昌】二見 【廣東】嵯峨	【航海中】 鳥羽 (十八日鎮江發—漢口—) 鶴見 (十八日舞鶴發—吳—) 八雲、磐手 (十九日江田内發—舞鶴—)

(附錄五頁、部内限三頁)

海軍公報 附録

昭和七年十一月二十二日(月)
海軍大臣官房

○ 雜 款

○ 圖書

去ル十月中納庫セル圖書左ノ如シ(海軍文庫)

和漢書ノ部

A 一一三 戰 術

航空機と海戦 海軍司令部編 昭和五

A 三〇〇 軍 政

帝國海軍糧食 海軍省軍需局編 昭和七

A 五五三 燃 料

揮發油に就て(其ノ一) 海軍燃料廠編 昭和七

揮發油に就て(其ノ九) 海軍燃料廠編 昭和七

A 五七〇 航 空 術

艦隊と航空 海軍司令部編 昭和五

D 二〇〇 戰 史(一般)

上陸作戦々史類例集 田尻昌次著 昭和七
廣島陸軍運輸部將校集會所

D 三三〇 世界大戰海戰史

潜水艦通商破壊戰史 海軍司令部編 昭和七

D 四一〇 日本陸戰史

馬占山軍潰滅戰 歩兵第十五聯隊補充隊編 昭和七

正義人上海戦闘史 春日靖軒著 昭和七
東京研文書院海軍陸戰隊上海戦闘記 海軍大佐 有馬成甫著 昭和七
東京海軍研究社

昭和七年 明華日誌 喜多村實三編 昭和七

D 六二〇 傳記—武人

上海陸戰 陸路排之助著 昭和七
隊の華 隱忠魂 京都 杉本書院

滿洲上海 盡忠錄 愛國會滿洲事變盡忠錄編輯部編 昭和七

滿洲事變盡忠錄 滋賀縣田島軍人遺家族
上海事變盡忠錄 後援臨時委員會編 昭和七

E 三〇〇 國際問題

機會均等主義概説 貴島克己編 昭和七
大連 南滿洲鐵道株式會社

E 三三〇 國際聯盟

海軍公報 附録

リットン報告書	赤松祐之編 昭和七 東京 國際聯盟協會	八三九	齊藤内閣	齊藤内閣編纂所編 昭和七	八三三
リットン報告書全文	東京朝日新聞社編 昭和七 東京 朝日新聞社	八三〇	大義内閣	大義内閣編纂所編 昭和七	八四一
五三四〇 軍縮問題		八三七	五二四〇 行政		
國際軍備縮少問題	三枝茂智著 昭和七 東京 新光社	八三四	臺灣統治問題	陳昆揚著 昭和六 臺北 寶文堂書店	八四四
五三七〇 戦争ノ問題			五二六〇 植民		
國際聯盟理事會 玆に總會に於ける	日支紛争の議事經過附録 國際聯盟事務局東京支局編 昭和七	八二七 八二七 八二七 八三八	ブラジル移民案内	外務省通商局編 昭和七	八四八
五三八一 各國ノ問題—日本			伯國に於ける移植民問題	外務省通商局編 昭和七	八六一
五三八三 各國ノ問題—支那			五二〇〇 經濟		
我等の敵日本其の他雜著摘要	文化事業部編 昭和七	八七四 九七五	日本戰時經濟の全貌	東洋經濟新報社編 昭和七 東京 東洋經濟出版部	八七〇
五五一〇 各國ノ國情—日本及朝鮮			五二〇一 經濟政策		
日本論	戴天仇著 昭和七 東京 文化事業部	八七三	世界經濟不況の現狀及對策	佐倉重夫編 昭和七 東京 三菱經濟研究所	八五九
五〇一〇 國家			五二〇二 各國ノ經濟		
滿洲建國と五省の富源	藤田政吉著 昭和七 奉天 滿洲通信社	八五〇	滿洲經濟の發達	貴島克己編 昭和七 大連 南滿洲鐵道株式會社	八六〇
五〇〇〇 政治			五二〇〇 産業		
南洋廳施政十年史	南洋廳長官官房編 昭和七	八三〇 八三五	滿洲商工事情概要	滿鐵地方部調査課編 昭和七	八三六
五三三 政黨			五二〇二 工場、事務		
			全國工場鑛業總覽 (附關係事業一般)	松下傳吉編 昭和七 東京 中外産業調査會	八三〇
			昭和版 全國工場通覽	大西茂彦編 昭和七 日刊工業新聞社	八三三

iii

農村更生 の活資料	滋賀の宮村 財団法人社会教育会編 東京 社会教育会 昭和七	八二一
K 四三六	共産黨	
支那の共産軍	平山周編 昭和七 経緯社	八二六
M 二〇〇	叢書	
日本海防史料叢書 (第二卷) 住田正一編 昭和七 (第四卷) 東京 海防史料刊行会		八三二 八三七
M 五〇〇	藝術、圖書	
東西圖案大成 自第一卷 大岡爲三編 昭和七 至第四卷 東京 東西圖案研究会		八三八
M 五五〇	戦争記念寫眞帖 昭和 上海事變記念寫眞帖 第三戦隊司令部編 昭和七 七年	八五九
M 六八〇	辭書類—科學	
標準用語集 (化學用語の部) 查源局編 昭和七 東京 工政会		八二九
洋書ノ部		
I. ENGLISH BOOKS.		
(A080. Spy)		
40 O. B. or How the War was won. by Hugh Cleland Hog, 1932, London, Hutchinson & Co.		8129
(A420. Seamanship)		
Manual of Seamanship. Vol. I. 1932, 1932,		
London, His Majesty's Stationery Office.		8127 & 8128
(D310. History of Sea Warfare in World War- General)		
The Concise Story of the Dover Patrol. by R. H. Bacon, 1932. London, Hutchinson & Co.		8131
(D313. History of Sea Warfare in World War- Submarine)		
Hell's Angels of the Deep. by William Guy Carr, 1932, London, Hutchinson & Co.		8130
(H140. Communication)		
List of Fixed and Land Station. 1931, Berne, International Bureau of the Telegraph Union.		8134
List of Stations Performing Special Services. 1931, Berne, International Bureau of the Telegraph Union.		8135
List of Ship Stations. 1931, Berne International Bureau of the Telegraph Union.		8136
(J390. Engineering-General)		
Applied Gyrodynamics. by Ervin S. Farry, 1932, New York, John Wiley & Sons		8137
(J390. Electrical Engineering-General)		
Handbook for Electric Welders. 1932. London,		

Murex Welding Processes. (3331. Chemical Engineering-Metal) Creep of Metals. by H. J. Tapwell, 1931, London, Oxford University Press.	8133	Etude Mécanique de Vol de l'Avion. par Maxime Robin, 1932, Paris, Ch. Béranger.	1438
2. DEUTSCHE BÜCHER. (X600. Die Wissenschaft) Sammelwerk der Autogen-Schweißung. Band I & II. 1932, Genf, Internationalen Beratungs-Stelle für Karbid und Schweiß- technik.	8132	Nouvelles Etudes sur la Chaleur. par Ch. Roszak & M. Véron, 1929, Paris, Dunod. 1439 La Transmission de la Chaleur. par M. Ten Bosch, 1930, Paris, Dunod. 1440 Comment Tenir Compte des Chocs dans les Calculs Pratiques de Résistance des Matériaux. par L. Jamin, 1925, Paris, Dunod. 1441	
Die Neueren Schweißverfahren. von Paul Schimpke, 1932, Berlin, Julius Springer. 1869 (X900. Die Allgemeine Bücher) Illustrierte Technische Wörterbücher. Band XVII. von Alfred Schlomann, 1932, Berlin, Technische Wörterbücher-Verlag. 1870	1868		
3. LIBRES FRANÇAIS. (Y400. Industrie) Le Pétrole. par J. Filhol & Ch. Bihoreau, 1929, Paris, Le Editions Pittoresques. 1437 Liste Alphabétique des Indicateurs D'appel des Stations Fixes, Terrestres et Mobiles. 1932, Berne, Bureau International de l'Union Télégraphique. 1442 (Y600. Science)			

1249

海軍公報

第千七百三十九號

昭和七年十二月二十二日(火)
海軍大臣官房

○ 辭令

(各通) 賞勳局書記官 伊手 衡

海軍省事務賜託ヲ解ク(十一月海軍省)

賞勳局屬 麻野 清一

海軍機關特務中尉 峰岸 喜之

第一課兼第二課勤務ヲ命ス(十一月海軍省軍需局)

(各通) 海軍大尉 須田 佳三

總務部勤務ヲ命ス 海軍主計中佐 荒川 信

○ 雜款

○佛艦「アルゴール」來航豫定

地名 着 發
長崎 十二月二十三日 十二月二十七日

別府	二十八日	三十日
宮島	三十日	三日
高松	三日	五日
神戶	五日	十四日

○事務所設置
驅逐艦響艦裝具事務所ヲ舞鶴要港部工作部造船課第一造船工場内ニ設置シ本月十八日ヨリ事務ヲ開始セリ

○事務所撤去
伊號第六十五潜水艦裝具事務所ヲ吳海軍工廠内ニ設置中ノ處本月十九日撤去セリ

○學生着校期日
來十二月一日任命セラレベキ本校高等科學生及選科學生ハ同九日(金)迄ニ着校セシメラレ度
(海軍經理學校)

○學生着校期日
十二月一日任命豫定ノ本校乙種學生及機關學生ハ十二月五日始業式施行ニ付其ノ前日迄ニ着校セシメラレ度
(海軍潜水學校)

海軍公報 第千七百三十九號 昭和七年十一月二十二日

一一七七

1250

(霞ヶ浦海軍航空隊)

至同
十二
日日

吳鎮守府葬喪管理者

○艦船所在

▲印ハハホフ
指定ヲ要セズ

○十一月二十二日午前十時調

【横須賀】

日進▲、山城▲、五十鈴▲、駒橋、長門、比叡、赤城、高雄▲、鳥海、摩耶、愛宕、榛名、木曾、春日、口金剛、口鳳翔

櫻、椿▲、口羽風▲、秋風▲、太刀風、帆風、

口神風、峯風、矢風、澤風、口潮、曙、臘、

口朝霧、夕霧、天霧

口伊四、伊三

富士▲、尻矢、洲崎、膠州、大和、室戸、

鳴戸

(龍驤)

【長浦】

嚴島

桑、楨、口神風、波風、野風、沼風、

口狹霧、漣、口雷、電

呂二〇、呂二一、呂二二、口呂五五、

呂五四、呂五六、口呂五九、呂五七、

呂五八、口伊二四、伊二三

口掃五、掃一、掃二、掃三、掃四、掃六

【石川島】

春風▲

【横濱】

松風▲

【浦賀】

神威▲

【大湊】口島風、灘風、汐風、夕風

【吳】

大泊

扶桑▲、加古、矢矧、古鷹、淺間、淀、

球磨、鬼怒、日向、韓崎、白鰐、勝力、

口伊勢、口那珂、阿武隈、口妙高、那智、

口神通、口長鯨

江風、谷風、天津風、時津風、磯風、濱風、

口白雪▲、初雪▲、深雪▲、口叢雲、薄雲、

白雲、口早苗、早蕨、若竹、吳竹、口敷波、

綾波、浦波、口東雲、吹雪、磯波

呂一四、呂一五、呂一六、呂一七、呂一八、

呂一九、口呂二七、呂二六、呂二八、

呂五三、呂五一、口呂六五、呂六六、

呂六七、伊六七、伊五、口伊五二、

伊五一、口伊五七、伊五六、伊五八、

口伊五五、伊五三、伊五四

掃七、掃八、掃九、掃一〇

劍崎、石廊、攝津、朝日、隱戸、間宮、

襟裳、鶴見

(伊六五)

【大阪】旗風▲、朝風▲

【神戸】大井

口伊二、伊一、口伊二三、伊二一

【舞鶴】吾妻、多摩▲、口八雲、磐手

口夕顔、葵、菊

呂三一

【佐世保】

(響)

名取、陸奥、長良、川内、青葉、衣笠、常磐、龍田、八重山、霧島、由良、夕張、

迅鯨、加賀、足柄、羽黑

夕風、朝風、追風、疾風、栗、楡、梅、

柿、栗、菱、草、草月、水無月、長月、

文月、三月月、菊月、望月、夕月、

彌生、睦月、如月、卯月

呂三三、呂二四、呂二五、呂六三、

呂六四、呂六八、呂三〇、呂二九、

呂三二、呂六〇、呂六一、呂六二、

伊六二、伊六一、伊六四、伊六三、

伊五九、伊六〇、伊六六

敷島、佐多、早鞆、能登呂

(曉)

【長崎】知床

【馬公】北上

樞、梨、竹

【鎮海】蓮、蓼、蓬

【龍口】刈萱

【芝罘】平戸

【青島】芙蓉

【上海】出雲、安宅

【薄、葛、萩、藤】

【鎮江】勢多

【南京】天龍

【蕪湖】浦風

【九江】宇治

【大冶】保津

【漢口】對馬、比良、伏見、堅田、熱海

【長沙】隅田

【宜昌】二見

【香港】嵯峨

【航海中】

鳥羽 (十八日鎮江發—漢口—)

野島 (二十一日佐世保發—橫須賀—)

青島 (二十一日吳淞—佐世保—)

(部内限一頁)

1253

海軍公報

第千七百四十號

昭和七年十二月二十四日(木)
海軍大臣官房

○通牒

官房第四三八八號

昭和七年十一月二十四日

海軍次官

關係所屬長官殿

靖國神社へ合祀未済ノ者取調ノ件申進
今同ノ事變ニ關シ昭和六年九月十八日ヨリ昭和八年一月三十一日迄ノ間ニ於テ死歿シタル軍人軍屬等ニシテ靖國神社へ合祀未済ノ者ニ就キ昭和七年二月十二日官房第五一九號ニ準ジ調査ノ上明年二月二十日迄ニ到達スル様提出相成度

昭和七年十一月二十一日

霞ヶ浦海軍航空隊司令

各所轄長殿

來十一月二十四日(木)本隊學生、練習生卒業式施行可致候ニ付テハ當日

博恭王殿下ヲ被差遣候旨御沙汰有之候間午前十時三十分迄ニ御來臨被下度此段御案内申上候
服裝 通常禮裝又ハ「フロックコート」「モーニング」

昭和七年十一月十八日

海軍水雷學校長
兼海軍通信學校長
海軍工機學校長
海軍砲術學校長
海軍砲術練習艦長
運川術練習艦長
橫須賀海軍練習航空隊司令

東京各廳高等官殿

本月二十九日(火曜日)海軍砲術學校ニ於テ四校、運川術練習艦及橫須賀海軍練習航空隊卒業式舉行可致候ニ付テハ當日

博恭王殿下ヲ被差遣候旨御沙汰有之候間午前八時四十五分迄ニ御來校被下度此段御案内申上候

○雜款

海軍公報 第千七百四十號 昭和七年十一月二十四日

一一八一

1254

○郵便物閉塞交換廢止
軍艦淀ト門司郵便局間ノ軍艦郵便ハ廢止セラレタリ
(海軍省副官)

○司令潜水艦變更
第三十潜水隊司令ハ本月十八日司令潜水艦ヲ伊號第六十六潜水艦ヨリ伊號第六十七潜水艦ニ變更セリ

○改姓
海軍軍醫大尉田中軍治ハ勝田ト改姓ノ旨本月十九日届出デタリ

○服役
海軍軍醫中尉小川紘ハ本月十九日海軍武官服役令第八條ノ規定ニ依ル現役ニ服セシメラル

豫備役海軍主計大佐正五位勳三等伊藤勇雄本月十八日卒去、本二十四日午後三時ヨリ同五時迄東京市下谷區龍泉寺町西德院ニ於テ告別式執行

海軍機關中佐從五位勳五等田代三郎一昨二十二日卒去、本二十四日午後二時三十分横須賀市山王町良長院ニ於テ海軍葬儀(佛式)執行

○艦船所在

指▲印▲ハカフ
定ヲ要セズ

○十一月二十四日午前十時調

【横須賀】

日進▲、山城▲、五十鈴▲、駒橋、長門、
比叡、赤城、高雄▲、鳥海、摩耶、愛宕、
榛名▲、木曾、春日、口金剛、▽鳳翔、
譽、椿▲、▽羽風▲、秋風▲、太刀風、帆風、
▽沖風、峯風、矢風、澤風、▽潮、曙、隴、
▽天霧、朝霧、夕霧、
▽伊四、伊三、
富士▲、尻矢、洲崎、膠州、大和、野島、
鳴戸

【長浦】

(龍驤)

嚴島
桑、楨、▽神風、波風、野風、沼風、
▽狹霧、漣、▽雷、電

呂二〇、呂二一、呂二二、▽呂五五、
呂五四、呂五六、▽呂五九、呂五七、
呂五八、▽伊二四、伊二三、
▽掃五、掃一、掃二、掃三、掃四、掃六

【石川島】

春風▲

【横濱】

松風▲

【浦賀】

神威▲

【大湊】

島風、灘風、汐風、夕風

【吳】

大泊

扶桑▲、加古、矢矧、古鷹、淺間、淀、
球磨、鬼怒、日向、韓崎、白鷹、勝利、
▽伊勢、▽那珂、阿武隈、口妙高、那智、
▽神通、▽長鯨

江風、谷風、天津風、時津風、磯風、濱風、
▽白雲▲、初雪▲、深雪▲、▽叢雲、薄雲、
白雲、▽早苗、早嶺、若竹、吳竹、▽敷波、
綾波、浦波、▽東雲、吹雪、磯波

呂一四、呂一五、呂一六、呂一七、呂一八、
呂一九、▽呂二七、呂二六、呂二八、
▽呂五三、呂五一、▽呂六五、呂六六、
呂六七、▽伊六七、伊五、▽伊五二、
伊五一、▽伊五七、伊五六、伊五八、
▽伊五五、伊五三、伊五四

掃七、掃八、掃九、掃一〇
劍崎、石廊、攝津、朝日、隱戸、間宮、
襟裳

(伊六五)

【大阪】

旗風▲、朝風▲

【神戸】

大井

【舞鶴】

吾妻、多摩▲

【夕顔】

葵、菊

【佐世保】

(響)

名取、陸奥、長良、川内、青葉、衣笠、常磐、龍田、八重山、霧島、由良、夕張、

▽迅鯨、加賀、足柄、羽黑

▽夕風、朝風、追風、疾風、栗、楡、梅、

柿、▽葦、菱、重、▽阜月、水無月、長月、文月、▽三日月、菊月、望月、夕月、

▽彌生、睦月、如月、卯月

呂二三、呂二四、呂二五、▽呂六三、

呂六四、呂六八、▽呂三〇、呂二九、

▽呂三二、▽呂六〇、呂六一、呂六二、

▽伊六二、伊六一、伊六四、▽伊六三、

伊五九、伊六〇、伊六六

敷島、佐多、早鞆、鶴見、能登呂

(曉)

【長崎】

知床

【馬公】

北上

▽榎、梨、竹

【鎮海】

▽蓮、蓼、蓬

【旅順】

▽平戸

【龍口】

劉登

【芝罘】

朝顔

【青島】

芙蓉

【上海】

▽出雲、▽安宅

▽薄、▽葛、萩、藤

【鎮江】

勢多

【南京】

天龍

【蕪湖】

浦風

【九江】

宇治

【大冶】

保津

【漢口】

對馬、比良、伏見、堅田、熱海、鳥羽

【長沙】

二見

【宜昌】

二見

【航海中】

嵯峨

(二十三日香港發—廣東—)

▽八雲、磐手

(二十三日舞鶴發—鎮海—)

桃、檜

(二十三日九江發—上海—)

青島

(二十三日佐世保發—上海—)

▽檜、柳

(二十四日南京發—上海—)

室戸

(二十四日橫須賀發—吳—)

海軍公報

第千七百四十一號

昭和七年十二月二十五日(金)

海軍大臣官房

○辭令

海軍航空本部勤務海軍技手 佐藤 道信
海軍航空廠附ヲ命ス(註海軍省)

○雜款

○司令驅逐艦變更
第六驅逐隊司令ハ本月二十一日司令驅逐艦ヲ雷ヨリ電
ニ、第八驅逐隊司令ハ一昨二十三日司令驅逐艦ヲ朝霧
ヨリ天霧ニ就モ變更セリ

○郵便物發送先

特務艦野島宛
三月十二日迄ニ到達見込ノモノハ 佐 世 保
同 十七日迄ニ 同 吳 須 賀
同 二十三日迄ニ 同 横 須 賀
其ノ後ハ 佐 世 保

○電話架設

海軍省軍務局第一課長井上成美宅(淀橋區西大久保町
一丁目四一〇)
四谷 35—〇四九〇番

○海軍航空本部造兵監督官異動

出張 地方	職	官 氏 名
東京 (首席)	海軍總政本部造兵監督官 兼造兵監督官海軍航空本部 部出仕	海軍大佐 赤堀 英吉
大阪 (首席)	海軍總政本部造兵監督官 兼造兵監督官海軍航空本部 部出仕	海軍機關大佐 二階堂行健

○試驗問題發送

左記練習生採用試驗問題本月二十一日發送済(聯合試
驗施行豫定各部ノ分ハ取纏メ當該人事部長宛送付)未
着ニシテ必要ノ向ハ至急御通知相成度

記

一、第五十五期高等科水雷術機雷練習生採用試驗問題

海軍公報 第千七百四十一號 昭和七年十二月二十五日

一一八五

1258

- 一、第七十期普通科砲術
二、第二十八期普通科測的術練習生採用試驗問題
（試驗施行期日 昭和八年一月十六日）
（海軍砲術學校）

○學生乘艦期日
來十二月一日附任命セラルベキ航海學生及運用學生ハ
同月八日午前九時三十分始業式施行ノ豫定ニ付其ノ前
日迄ニ乘艦セシメラレ度
（運用術練習艦）

退役海軍軍醫中佐從五位勳五等河村豊太郎一昨二
十三日卒去、本二十五日大垣市郭町三自宅ニ於テ
告別式執行

○艦船所在

指定ヲ要セズ

○十一月二十五日午前十時調

【横須賀】

日進、山城、五十鈴、駒橋、長門、比叡、赤城、高雄、鳥海、摩耶、愛宕、榛名、木曾、春日、金剛、鳳翔、

櫻、椿、羽風、秋風、太刀風、帆風、

沖風、峯風、矢風、澤風、潮、曙、龍、

天霧、朝霧、夕霧

伊四、伊三

富士、尻矢、洲崎、膠州、大和、野島、

鳴戸

(龍驤)

【長浦】

嚴島

桑、檳、神風、波風、野風、沼風、

狹霧、漣、電、雷

呂二〇、呂二一、呂二二、呂五五、

呂五四、呂五六、呂五九、呂五七、

呂五八、伊二四、伊二三

掃五、掃一、掃二、掃三、掃四、掃六

【石川島】

春風

【横濱】

松風

【浦賀】

神威

【大湊】

島風、灘風、汐風、夕風

【吳】

大泊

扶桑、加古、矢矧、古鷹、淺間、淀球磨、

鬼怒、日向、韓崎、白鷹、伊勢、那珂、

阿武隈、妙高、那智、神通、長鯨、

江風、谷風、天津風、時津風、磯風、濱風、

白雪、初雪、深雪、叢雲、薄雲、

白雲、早苗、早蕨、若竹、吳竹、敷波、

綾波、浦波、東雲、吹雪、磯波、

呂一四、呂一五、呂一六、呂一七、呂一八、

呂一九、呂二七、呂二六、呂二八、

呂五三、呂五一、呂六五、呂六六、

呂六七、伊六七、伊五、伊五二、

伊五一、伊五七、伊五六、伊五八、

伊五五、伊五三、伊五四

掃七、掃八、掃九、掃一〇

劍崎、石廊、攝津、朝日、隱戸、間宮、

襟裳

(伊六五)

旗風、朝風

【大阪】

大井

【神戸】

伊二、伊一、伊二三、伊二二

【佐伯】

勝利

【舞鶴】

吾妻、多摩

夕顔、葵、菊

呂三一

海軍公報 第千七百四十一號 昭和七年十一月二十五日

一一八七

(響)

【佐世保】

名取、陸奥、長良、川内、青葉、衣笠、常磐、龍田、八重山、霧島、由良、夕張、

▽迅鯨、加賀、足柄、羽黑

▽夕風、朝風、追風、疾風、栗、楡、根、

柿、▽葦、菱、董、▽阜月、水無月、長月、

文月、▽三日月、菊月、望月、夕月、

▽彌生、睦月、如月、卯月

呂三三、呂二四、呂二五、▽呂六三、

呂六四、呂六八、▽呂三〇、呂二九、

呂三二、▽呂六〇、呂六一、呂六二、

▽伊六二、伊六一、伊六四、▽伊六三、

伊五九、伊六〇、伊六六

敷島、佐多、早瀬、鶴見、能登呂

(曉)

【長崎】

知床

【馬公】

北土

【鎮海】

▽樫、梨、竹

【旅順】

▽平戸

【龍口】

刈萱

【芝罘】

▽朝顔

【青島】

芙蓉

【上海】

▽安宅

【上】

▽薄、葛、萩、藤

【鎮江】

勢多

【南京】

天龍

【蕪湖】

浦風

【九江】

宇治

【大冶】

保津

【漢口】

對馬、比良、伏見、堅田、熱海、島羽

【宜昌】

隅田

【廣東】

二見

【航海中】

嵯峨

▽八雲、磐手

(二十三日舞鶴發—鎮海—)

桃、檜

(二十三日九江發—上海—)

青島

(二十三日佐世保發—上海—)

▽檜、柳

(二十四日南京發—上海—)

室戸

(二十四日橫須賀發—吳—)

(部内限ナシ)

海軍公報

第七千七百四十二號

昭和七年十一月二十六日(土)

海軍大臣官房

○令達

官房第四三九二號

明治四十二年官房第三五五八號艦内主要ノ兵器、機關、船具ノ番號、稱號並ニ甲板内外舷等ノ受持及食卓敷所等ニ關スル規程中左ノ通改正ス

昭和七年十一月二十四日

海軍大臣

第一條第二十號ヲ左ノ如ク改ム

二十號橋(マスト)

海軍諸例
則登載

二橋艦ニ於テ兩橋ノ高サ相等シキトキハ其ノ後部ニ在ルヲ大橋、前部ニ在ルヲ前橋ト稱シ、高サニ差アルトキハ高サ大ナルモノヲ大橋、小ナルモノヲ其ノ前後ニ應ジ前橋又ハ後橋ト稱ス特ニ小型ニシテ旗幟掲揚裝置ヲ有セサルモノヲ副橋ト稱ス單橋艦ニ於テハ其ノ橋ヲ大橋ト稱ス又ハ副橋ト稱ス三橋艦ニ於テハ其ノ前部ニ在ルヲ前橋、中部ニ在

○通牒

官房第四四〇七號

昭和七年十一月二十六日

海軍省副官

關係各廳御中

職員錄原稿ノ件照會

昭和八年一月一日現在職員錄發行ノ爲原稿調製方内閣印刷局長ヨリ照會有之候ニ付テハ貴廳ニ係ル分左記ニ據リ調製期日迄ニ御送付相成度

記

一、昭和八年一月一日現在ノ高等官同待遇者及之ニ準ズル公務員ヲ錄スルモノト

一、氏名ノ正ニ附シタル官職前行ニ同ジキトキハ「同」

海軍公報 第七千七百四十二號

昭和七年十一月二十六日

一一八九

1262

- 字ヲ用フルコト
- 一、部長、課長、所長等ノ職名ヲ除ク外氏名頭書ノ委員名ニ掛長、勤務課名ハ省略スルコト
 - 一、氏名中讀方ノ特ニ困難ナルモノニ限り振り假名ヲ附スルコト從前ノ例ニ依ル
 - 一、勳等ノ下(旭)ハ旭日章、(寶)ハ寶冠章、其ノ註ナキハ瑞寶章ナルコト前例ニ依ル
 - 一、在京官廳ノ課長以上ノ職ニ在ル者及各省秘書官並ニ勅任官ハ住所電話ヲ記入スルコト
 - 一、地方所在ノ各廳ニ在勤スル勅任官ニシテ長タル官職ニ在ル者ニハ住所及電話ヲ附記スルコト
 - 一、課別ニセザルコト
 - 一、朝鮮ノ各道、臺灣ノ各州廳管下ノ官署ニハ所在地及電話ヲ省略スルコト
 - 一、用紙ハ美濃野和紙ニシテ一段書トスルコト
 - 一、字體ハ楷書ニシテ明瞭ニ記シ特ニ氏名ニハ注意ノコト
 - 一、其ノ他一般記載ノ體裁ハ昭和七年一月職員錄ノ例ニ依ルモ尙昭和三年十二月六日海人第二〇四號(十二月六日海軍公報)及同四年七月十五日海人第二五四號(七月十五日海軍公報)參照ノコト

一、原稿當局ニ到達ノ期日 二月八日

○雜款

○軍艦出雲行動豫定

地名 着

發

上 海 十二月三十日 十二月二十七日
佐 世 保 十二月三十日 十二月四日
上 海 十二月六日

○伊號第六十七潜水艦行動豫定

地名 着

發

吳 地 十二月二十七日 十二月二十六日
佐 世 保 十二月二十七日

鎮江江勢多、蔞、藤、巨櫟、柳
南天龍、九字治、大治、漢口、長沙、宜昌、東二見、廣二見、桃、檜、青島、浦風、
（二十三日九江發—上海）
（二十三日佐世保發—上海）
（二十六日蕪湖發—上海）